

- ・コラム「アフターあせらず、あわてず、あきらめず」
- ・お知らせ(おおたか静流ライブ)
- ・宿泊研修 2015 滋賀報告
- ・協力者名簿／編集後記

「アフターあせらず、あわてず、あきらめず」

杉浦 良

「不憫(ふびん)なこの子を残して、私はよう死ねへんのです・・・。何としても、私がしつかりせんといかんと思うてます・・・。」思いつめたような表情に、険しさと行き場のない怒りを押し殺して、Iさんのお母さんは言葉を紡ぎました。「この子に料理なんて・・・、いままで味噌汁一つ作ったことあらしまへん・・・。包丁なんて危のうて・・・。ほんまでっか？でもこの子の味噌汁なんて、よう飲めやしまへんわ・・・。」

仕事も大切ですが、生活トレーニングの一環として、昼の味噌汁作りを行っています。Iさんの作った味噌汁は薄味で、他のメンバーからも美味しいと評判です。ただ、料理上手のお母さんにとって、息子の味噌汁の味付けなどは、論外なのでしょう。

「この子の変な癖さえなければ、外から見たら普通に見えますのに・・・、何とかなりまへんやろか？訳のわからんことするんです・・・。早ようご飯食べたらええのに、首振ったり、茶碗下から覗(のぞ)き込んだり、上から眺めたりで、ご飯食べるのにオマジナイが長いんですわ。折角のご飯も冷めてしもうて、一生懸命作る甲斐(かい)があらしまへん。食べるとなると、味噌汁から何から全部グチャグチャにして、飲み込むようにして、アッという間に食べてしまいます。こっちも見ててイライラするんです・・・。」

次々と機関銃のように言葉が発せられたかと思うと、急に不安な顔つきになり、あの優秀だった頃のIさんを思い出しては、身に降りかかった不幸を嘆かれます。

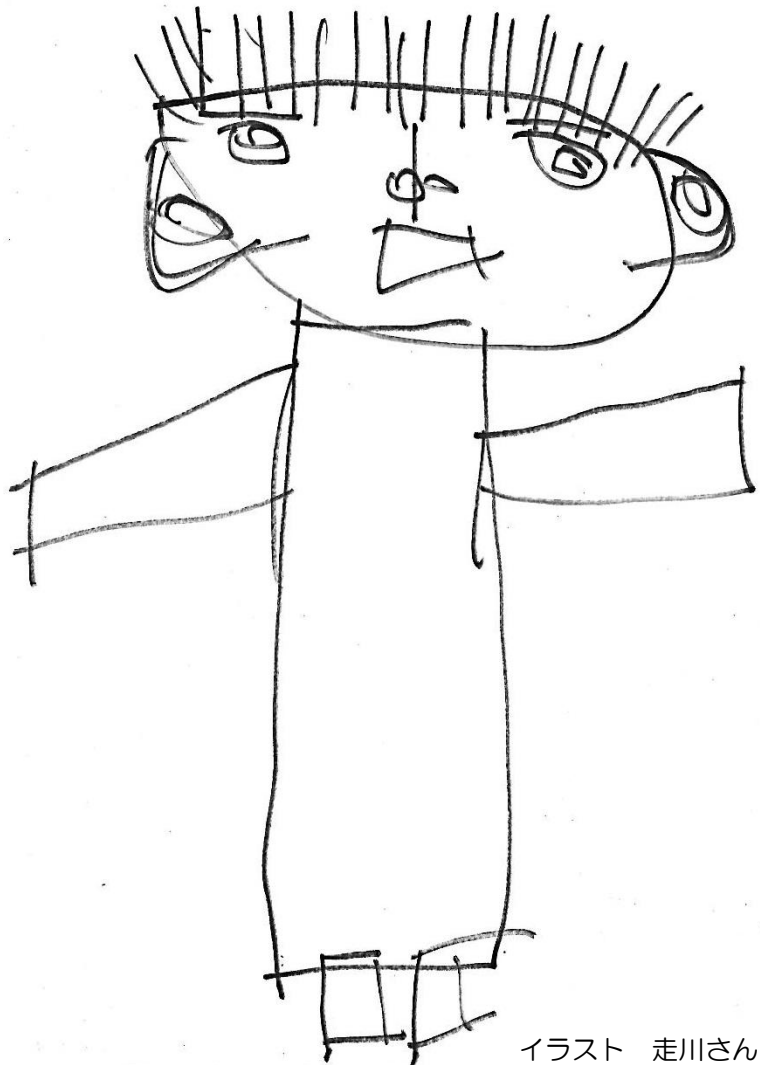


イラスト 走川さん

「暑い夏に、ギラギラした太陽が頭上から降り注いで、僕は頭がクラクラしてしまって・・・。それ以来、調子が悪くなったんです。薬も飲まんといかんようになって・・・」そうボソッと語るIさんがありました。勉強もでき優秀だった自慢の息子さんが、それとは別の人生を送ることとなった厳しい現実を、いつか昔のIさんにもどってくれる日を、必死で待ち望むことになります。

月日が流れ、今の現状を受け入れるしかなくなった頃、気丈なお母さんが病で倒れました。不自由な体は、否応なく、料理上手のお母さんを打ちのめします。藁(わら)をもすがる気持ちでもがいていると、そこに息子のIさんがいました。「母ちゃん！味噌汁と焼き飯くらいは作れるよ・・・。ご飯も炊けるし・・・。食器洗いも、洗濯もできるけど・・・」

以前のIさんは、こちらの言葉が心に届かない状態でした。食器を洗うのに大量の洗剤を使って泡と格闘すること数十分、空を見上げながら洗い桶をかき回すやり方でした。何度注意されても、分りましたと答えるものの、その言葉がIさんの心に届かないのです。しかしそのうち、薄皮をはぐように、1枚1枚心を閉ざすバリアーが取れることで、時々言葉が心に届くようになりました。言葉が届く回数が増えるにつれて、2倍に薄めなければ飲めなかった味噌汁の味や、3倍に薄めなければ甘すぎて飲めなかったコーヒーに、変化が現れました。「Iさんの作った味噌汁が飲めるようになったわ！甘すぎて気持ち悪くなるコーヒーも、普通になってきたな！」そう口やかましくいう他のメンバーたちを尻目に、何やら表情がにこやかなIさんです。

「不憫(ふびん)な子のこのために、私が何とかせんとと、ずーっと思うとったんですが、今ではその子に助けられています

わ・・・。妙なもんですなあ・・・。これに懲りんと、よろしゅうお願いします・・・」そう語るお母さんの目が赤く潤んでいます。

「優秀なままだったら、一緒におっつけられませんか・・・。悪いことばかりではなくて、少しは良いこともありましたね・・・」そんな会話が最近できるようになりました。気がつけば、18年ほどの月日が流れて行きました。

その後、お父さんが大病をされ、お母さんも2度目の発作に襲われました。もうそろそろ次のステージを考えなければいけなくなりました。

「ボクもな・・・、お父さんが亡くなり、次にお母さんもガンで長いことないと、言われたんや・・・。毎日作業帰りに病院に寄って見舞いをしたけど、本当に辛かったわ。お母さんも亡くなって自分ひとりだけになったら、体中の力が抜けてしまって・・・。それで施設に入るようになった。でも嫌で何度も抜け出したんや。そしてここに来るようになった。お父さんお母さんの位牌もここにある・・・。Iさん！お父さん、お母さんをもとってあげたら？Iさんがヨボヨボにならんうちに・・・。ボクはみとってあげて良かったと思っとる。悲しかったけどな・・・」そう言ってKさんが涙目になりました。

「ここがいいけど・・・今まで散々苦労をかけたからなあ・・・」そう頭をかきながら呟いて、立ち去って行かれました。23年もの日々にドラマが展開してきました。

あせらず、あわてず、あきらめなかったことと、ネガティブイメージをすこし横に置きながら、昔はもっと大変だったIさんとの出来事を思い出すこと、での日々でした。次のドラマが展開中です。

(これは日々日常をつなぎ合わせたイメージ論です。)

お知らせ

第6回おおたか静流 チャリティライブ

10月23日午後7時より、徳島市般若院にて、「おおたか静流チャリティライブ6th」を開催しました。

今年で6回目を迎えた、おおたか静流さんと、Keijuさん、慧奏さんによるコラボは、約180人の皆様の熱気に包まれた本堂にて、「SAJA DREAM」で幕が上がりました。

3.11震災を受けて、仙台出身の梅津和時さんが書いたチャリティソング「東北」、NHK番組「にほんごであそぼ」でお子様にもおなじみの「でんでらりゅうば」など、中休みを挟んで、2時間のライブ。

終了後も、購入したCDへのサインや記念写真の撮影をお願いする方が本堂に残り、ライブの余韻が残っていました。

今回初めて四国放送ラジオでライブの告知をさせて頂きました。初めて聴きにいられた方、駐車場探しに苦労されて開場時間に遅れた方、小さなお子様連れのお客も多く、太陽と緑の会のスタッフも微力ながらサポートをさせて頂きました。

皆様から寄せられたチャリティ18万7583円(うち、おおたか静流さんよりご提供頂いたCD・DVD・絵本の販売金3万5500円含む)を社会福祉法人ありのまま舎(仙台市)に送金し、沿岸部の在宅難病患者の皆様の支援に役立てられます。今回を含めた6回のチャリティライブによる支援総額は123万9906円となります。

なお般若院に設置して下さっている募金箱から当会に2万8198円のご寄附を頂戴しました。大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



事業体験プログラム

9月17日「コミュニティビジネスセミナー2015 思いに花を咲かせよう!」(主催:勤労者福祉ネットワーク)というプログラムの受け入れをさせて頂くことになりました。一般の参加者15名、徳島市から2名、勤労者福祉ネットワークから2名で、20代の方から60代の方までと年齢層も幅広い構成です。

事業体験と事業説明の2本立てで2時間という今回のプログラム。

事業体験では、衣料品の値札付け・商品入替チーム、50円商品の陳列チーム、古紙(段ボール)の積込チームの3グループに分かれて頂き、当会の様々なハンディを持ったメンバーと一緒に1時間近く作業を体験して頂きました。

テレビとくしまのカメラも入り、当会の様々なハンディを持つメンバーも緊張気味でした。

皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

体験実習

10月10日午前10時から午後3時まで、脇町高校3年生のお二人が体験ボランティアに来てくれました。

「学校の先生から勧められて来ました」
「今朝は6時に起きて、JRに乗って来ました。」

一人は社会福祉士を、もう一人は特別支援学校の教員を志望とのこと。

簡単なオリエンテーションの後、様々なハンディを持ったメンバーと一緒に作業を体験して頂きました。

ハンドマイク片手に、秋の感謝セールのご案内もしてくれました。

「参加する前は緊張していたけれど、皆がいろいろ話しかけてくれてよかったです」

慌ただしい土曜日の太陽と緑の会に、さわやかな風を吹き込んでくれました。遠路はるばる、お疲れ様でした。

10月19日、20日の2日間、地元の国府中学校から、2年生の男子4名の皆さんが、職場体験実習に来てくれました。

最初は緊張で硬い表情でしたが、こちらの様々なハンディを持ったメンバーと一緒にトラックに乗って、各ご家庭にお伺いして品物を頂いたり、品物を分別したりしていく中で、少しずつ言葉も出て来るようになりました。

売場のリニューアルや、商品の入替などにも参加してくれて、中身の濃い2日間だったと思います。

「お客さんから、この品物を買いたい、と言われてうれしかった」

「思ったよりも品物がたくさんあった」
「(品物回収作業で)階段が大変だった」

当会では、平成14年から国府中学校の生徒さんが職場体験実習に来てくれています。

今回参加してくれた中学生の皆さんがまだ生まれて間もない頃からです。

2日間、お疲れ様でした。



来所、見学

7月25日～26日 わっぱの会（愛知県）の松村さんが来所見学。夜は月の宮生活棟に宿泊。わっぱの会の皆様には、昨年11月に研修で見学させて頂き、大変お世話になりました。

8月31日 石塚さん（京都保育専門学院専任教員）ご夫妻来所見学。30年ぶりの来所

9月6日 白杉さん（ねっこの輪・滋賀県）、池見さん（しえんからさき（就労移行支援・就労継続支援B型））来所。「引き取り手のない放置自転車のリユースを障害者メンバーの作業に導入できないか？」そんな思いで視察に来られました。

9月13日 香川県の公益財団法人セカンドハンドから11名の皆様が来所。チャリティーショップの運営とカンボジアの教育支援や医療支援を軸に活動されている団体で、当会も10年前に研修旅行で見学にお伺いしました。

参加

7月6日 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の見学研修会をうみがめ共同作業所（牟岐町）にて実施。当会杉浦が事務局として出席

10月31日 第13回ふれあいフェスティバル開催（於：徳島市加茂名南小学校の体育館）。県内の障がいを持ったメンバー達の作業所・事業所15か所が集いました。当会杉浦が事務局として出席。

11月5日 ハートフルゆめ基金とくしま第2回円卓フォーラム開催。当会杉浦が運営委員として出席。特別公演として「みらいファンド沖縄」副代表理事 平良さんの実践に基づく理論展開を聞かせて頂きました。

杉浦講演

7月26日午後7時～ 徳島市渋野町公民館にて人権講演会にて
10月2日午後1時半～ 内町ふれあい教室・すくらむ学級合同学習会
（昨年、渭北公民館でお話しさせて頂いたのがご縁です）



県職員NPO研修受入

10月5日、6日の2日間にわたり、徳島県職員8名の皆様が、太陽と緑の会にて研修に参加されました。毎年秋に行われている「NPO法人短期研修」も今年で5回目を迎えました。

30年の活動の歩みとミッションの説明、事業体験、感想・質疑応答のプログラム。

徳島県の未来の公共を担っていかれる若い職員の皆様が、様々なハンディを持ったメンバーと一緒に作業を行い、汗を流して下さいました。

「大変なことって何ですか」「やりがいつてどんなことですか」「3障害を受け入れるって大変ですよ」「もう少し人を増やしたらどうですか」

いろいろなご質問ご提案を頂きました。2日間、ありがとうございました。

定休日及び冬期休業

12月8日（火）、9日（水）、16日（水）、22日（火）、23日（水）

冬期休業

12月29日（火）～1月3日（日）
新年は1月4日（月）スタート

宿泊研修 2015in 滋賀 報告

平成 27 年 10 月 26 日(月)～27 日(火)、公益財団法人徳島県福祉基金より「地域活動支援センター等利用者の社会参加を促進する事業」として受けた助成金に自己資金を合わせ、太陽と緑の会リサイクル作業所及び太陽と緑の会月の宮作業所合同の宿泊研修旅行を行いました。

様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計 27 名が参加しました。



今回の研修では、「がんばカンパニー」(滋賀県・就労継続支援 A 型事業所) 及び「くらしの宝島」(滋賀県・社会的事業所) を見学させて頂きました。

「がんばカンパニー」は、昭和 61 年に無認可の小規模作業所としてスタート。

焼き菓子の製造販売は、1t/日の生産力を持つ工場で障がい者 50 人、健常者 18 人

が、最低時給 770 円、月額 5～24 万(1日 4～8 時間労働)の給料で働いています。年間約 5600 万円の公的資金を活用しつつ、多彩な商品開発に加え、相手先ブランド商品の企画提案・製造、ネット販売なども行い、年間約 1 億 3000 万円の売上につなげています。

「訓練機関ではなく、中間的就労の場」「これ以上の規模の拡大は考えていない。目が届く規模としては今の規模でも大きいくらい」

「ここは特殊な世界。ここの定員を増やすよりは、民間企業での雇用を増やす」
所長の中崎さんのバランス感覚が印象に残りました。



がんばカンパニー所長の中崎さんに、太陽と緑の会の作業所メンバーからも質問

「くらしの宝島」は平成5年設立。一般市民から不用品を無償で引き取り、リユース・リサイクルを行っています。障がい者8人、健常者3人に時給770円、月額9～10万弱（1日6時間労働）の給料を支給していますが、売上が減少すると公的資金（年間約1100万円）を合わせても賸えず、代表の内田さん個人の持ち出しになることもある、とのことでした。

「就労系の事業だけでやっていくのは厳しくなってきた」

「個人に責任が集中している。法人格を取得して経済的に軌道に乗せることも考えている」

「共働」の理念を実践されてきた内田さんの真摯な思いが伝わってきました。

昨年の研修で見学させて頂いた「わっぱの会」、そして今回の「がんばカンパニー」「くらしの宝島」。それぞれの「共働」の実践のスタイルの特徴と舵取りの難しさ。太陽と緑の会の立ち位置を再確認しつつ、帰途につきました。



くらしの宝島代表 内田さん

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2015年6月1日～2015年10月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

藤上、生島、九次米、(株)近藤組、横尾、伊藤、般若院募金箱、西谷、森西、米田

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○田中、大野、米田、飯坂、西原、藤田、森本、つるや洋品店、新井、高瀬、福山、山川、酒井、佐藤、藤永、永来、古谷、宮崎、圓藤、森下、大松、高見、木村、清水、三原、遠藤、桑村、近藤、松島、伊藤、飛鳥、羽山、森井、岩本、ワダヤ、岡田、宮本、日下、松田、矢部、池田、坂田、原田、中村、小浜、野口、富田、森、坂東、三好、西岡、村島、三木、鈴江、井上、(有)千福、小川、ワダヤ、細井、小倉、増田、岡、Dコム、河原、佐伯、佐川、大谷、村田、桑原、米沢、黒崎、森川、新見、中川、布川、鎌倉、高木、西林、小桜、井関、片山、小山、家段、上田、市原、杉本、河野、渡辺、武市、鶴島、藤原、柴谷、丸山、藤岡、吉崎、夷谷、小口、友成、細川、高田、川上、玉成、大塚、川瀬、持田、猪井、行部、林、宮地、柏木、小野、橋本、機械化センター、長谷川、坂本、伊賀、四国電力徳島寮、石本、安芸、横山、吉内、秋田、山本、上田、ワダヤ、福田、椿本、美馬、はやし別館、田中、岩佐、中山、岸本、中島、(有)アキオデザイン、栗田、松岡、藤本、土肥、戎、杉、泊、垣本、石躍、藤井、大島、磯谷、丸田、丸山、鴻野、大池、生島、藤本、国安、久保、椎野、福井、井形、川崎、瀧倉、徳島視覚支援学校、竹田、勝川、速水、村上、古川、田中、金山、宮越、青木、圓藤、藤原、西、サントール、福田、谷野、正城、堀井、久宍、三木、篠原、岡田、南、佐々木、佐藤、山崎、萩原、友川、枝澤、以西、奥山、宮竹、上杉、坂野、伊勢、井上、松浦、山本、河野、上村、近藤整形外科、真鍋、宇治、城福、太田、東根、原、チケット徳島、吉村、宮野、斎藤、宮本、為実、門田、三橋、片保、サルーテ、松井、横山、北島、北野、横田、吉岡、高山、和泉、東野、小池、服部、工藤、尾形、新田、福永、近藤組、藤井、清水、駒坂、増岡、中尾、近藤、小倉、中川、高浜、山下、川野、佐川、長野、村口、富尾、井坂、原田、マリノグ、梶原、久次米、機械化センター、井川、元木、村山、サンルー、桂、山西、吉崎、熊本、戸村、齋藤、永井、増田、森本、矢坂、鶴木、小宮山、豊田、グランドカメラ、谷、岡、加藤、吉内、長尾、栄、笹田、海出、清、岩野、森、河原、稲井、木本、杉山、桜井、桜田、辻本、泉、渡辺、橋本、月か堂、松本、キム、板東、ファミリーマート富田橋、山口、安藝、山岡、安福、杉田、三吉、渡邊、川添、井内、ドン、浜田、ケアハウス あさがお、パソQ、琉子、小山、土肥、沢田、大西、川瀬、大櫛、岩崎、雲財、黒木、飯田、泰地、○松茂町○上西、A T S徳島航空サービス、川道○藍住町○山本、森、近藤、誉田、窪田、森、吉田、日下、瀬筒、田岡病院、布川○鳴門市○朝香、和泉本、久龍、山本、篠原、田中、牧野、林、中谷、浦田、久龍、石川、長尾、林、辻、増家、庄野、川道○石井町○前田、板原、佐野、西村、富士原、露口、友成、近藤、中倉、西浜○阿南市○阿井、ヘルメス商事、高原、天羽○小松島市○田上、山田、植田、木島、佐川歯科、ガラクタ、岩本、大原、喜多○阿波市○塩田、三木、坂東、辰巳、森本、塩田、富山、高島○吉野川市○近久、吉本、松本、野田、渡辺、工藤、近藤、三木、坂東、諏訪、米田、大江○北島町○小島、結城、森田、山下、今井、飯坂、結城、税田、油谷、中原、坂東○板野町○大寺、行譜、中村、賀山

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○吉兼、岩井、重井、黒川、富沢、吉田、大井、湯浅、松本、窪川、平川、吉成、河野、人生たすけあい家、見出、山川、福島、多尾、山下、岡本、中井、佐藤、阿部、向井、佐々木、飯富、木下、中野、西田、忠津、川田、鳥居、西原、松田、井原、永井、谷山田、古川、美濃、細川、小倉、増田、岡、山西、谷本、森岡、酒井、井出、中村、木場江口、鈴江、岡田、蒲、畑、川島、山本、立石、佐次、浅野、北野、上田、富永、林、勝浦、畠中、布袋、朝日、蔵本、住瀬、渡辺、野々瀬、岡本、林、若宮、後東、末次、小林、橋本、佐古、植田、川田、佐野、田和、采元、西條、津地、古川、サ

ソドラ、ツツイ、長谷、岩見、片山、岩佐、柴折、田村、藤井、今獅々、菅沼、松野、桑原、谷、木村、谷口、西川、西谷、黒田、加藤、井川、徳島県健康生活協同組合、渭北支部、三好、三木田、関本、多田、板東、谷、岩佐、平野、医療法人 三輝会 稲山病院、後藤、桶川、内田、酒井、西尾、ステファン、ヴェレック、小倉、三宅、中野、郡家、津川、阿部、安崎、三谷、早原、新田、高橋、芝井、杉本、斎藤、猪本、前川、照本、赤坂、西田、大島、姫野、高齢者住宅 香水、須原、角野、近藤、花田、出口、森本、山口、前野、西内、川崎、竹内、重田、川人、杉浦、吉本、太田、井上、半田、石本、堂久保、梅津、松本、荻原、海部、幸田、福永、森、百田、勢井、采元、鶴本○鳴門市○東、高田、後藤、金沢、芝、田村、多田、東村、東、白石、佐藤、森井○石井町○瀬部、井上、欠掛、上田井、黒川、富崎、為実、佐藤、久米、森、野田、酒井、アルベル、ゴンザレス○阿南市○谷、金住、中西○吉野川市○上川、竹中、川田東部婦人会 工藤、形山、迎、仲野、藤井、蒔本、金子、岡田、横山、早雲、上岡、乾、北浦、八坂、村上○北島町○音澤、高麗○上板町○湯浅、安芸、山口、稲井、森本、安崎○藍住町○山橋、木内、誉田、中村、柳川、三宅、誉手、植村、阿部、野田、犬伏、南、後藤、大下、楠木、斎藤○東みよし町○白川○松茂町○吉本、中野○神山町○高橋、清水○佐那河内村○長江○海陽町○神沢○美馬市○森岡、新居、福井○阿波市○笠井、高島○三好市○東口○板野町○高橋、米澤、小原、橋本、井上、菱岡、平野○小松島市○新井、米田、小畠○福岡県○永峰○広島県○福澤○愛媛県○森下、植岡○香川県○香川県隣保館連絡協議会、セカンドハンド○大阪府○吉岡、石塚○京都府○木村○東京都○三木○群馬県○山本○静岡県○杉本

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の方のご協力を頂いております。

またカレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様(毎回、メンバーも楽しみにしています)、いつもお野菜などを差し入れて下さる吉田様、二階様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切にリユース・リサイクルし、障害者の支援、ボランティア育成、他団体への支援などに役立てています。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

※本誌へお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。

いつもお世話になります。

私にとっては捨てがたく、でも実際には価値のない物たちを受けていただいて感謝しています。そして申し訳なく思っています。本当にありがとうございます。

太陽と緑の会様

ご無沙汰しております。
最近着用しなくなった衣類
が出てきましたので、ダンボール
3箱分、送らせていただきます。
活用していただければと
思っています。
ありがとうございます。

編集後記～「やせ我慢？」

今年も残すところ、あとわずかとなりました。昨年末に専任職員2名、パート職員1名が退職し、運営体制をゼロベースで見直してのスタートでした。定休日の変更の影響もあって、売上は1割減少しました。

「やせ我慢はやめて、個別給付事業に移行したら？ 公的資金を導入すれば、運営も安定し、職員も増やせるよ。もらえるものは、もらわなければ損だよ」

「いつまでも若くないんだし。スタッフの生活のことも考えたらんと」との、有難いアドバイスを頂きます。

確かに、国の制度を利用して年間5000万円以上の公的資金を頂ければ、職員の待遇は確実に改善します。

今のように、夜遅くまで品物の仕分け、値段付け、陳列をする必要もなくなり、休日も増やせます。待遇の改善は、求人面でもプラスとなるでしょう。

建物設備も補助金等によって充実し、作業環境も向上します。運転手つきの送迎バス、多様な事業展開と職員の確保で、至れり尽くせりの福祉サービスも可能となります。

無認可の作業所としてスタートした所が、次々と個別給付事業に移行していったのも、当然の選択かと思います。

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

「その時、ミッションは変容することなく保てるのだろうか。移行後に採用された職員にミッションを伝えていけるのだろうか。メンバーとスタッフの関係は変わらずにいられるのだろうか」などつぶやいていると、「いい年して、何青くさいこと言ってるの」と笑われてしまうかもしれません。

しかし、縁あって、全く畑違いの領域に関わるようになった、己の来し方を振り返った時、『公的資金に軸足を置いた太陽と緑の会』に社会的な存在意義を見出しにくい面があるのも確かです。

少子高齢化が進み、生活保護受給者数も過去最高を更新する中、消費税は増税、法人税は減税、防衛費は過去最大というご時勢。限られた社会保障費の熾烈な奪い合いは必然でしょう。

「持続可能な福祉のあり方」のひとつとしての存在意義を勝手に思いつつ、来年もイバラの道を行ける所まで歩いて行こうと思います。（文責・小山）

今年は定休日の変更などもあり、皆様には大変ご迷惑をおかけ致しました。火災で建物が全焼した時以来の、大変厳しい一年でしたが、おかげさまで何とか持続することができました。

本誌をもちまして、新年のご挨拶とさせていただきます。皆様にとって幸ある年となりますように。

発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
088-642-1054（リサイクル）
代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
協力者名簿作成 岡田
タックシール添付・ゆうメール押印 堀
製本・発送作業 太陽と緑の会月の宮作業所

年会費：正会員1万円（総会議決権・事業報告書）

準会員1,000円（機関誌郵送）

郵便振替口座：01620-8-44703